|  |
| --- |
| **平成26年度　大阪府の一般廃棄物**　　　　　　　　　大阪府環境農林水産部循環型社会推進室資源循環課 施設整備グループ健康医療部環境衛生課 水道・生活排水グループ《 詳しくは大阪府ホームページに掲載しています。<http://www.pref.osaka.lg.jp/shigenjunkan/recycle/osaka28.html>　》 |

平成26年度における大阪府の一般廃棄物（ごみ及びし尿）の排出及び処理状況等について、環境省の「一般廃棄物処理事業実態調査（平成26年度）」をもとにとりまとめましたので、結果の概要をお知らせします。

統計トピックス１

**１　ごみ処理の概要**

（１）ごみ排出の状況

大阪府のごみの総排出量（生活系ごみ＋事業系ごみ）は、318万５千トン（前年度比3.5％減）でした（図１）。府民１人1日当たりのごみ排出量は984グラム（同3.3％減）で、平成に入って初めて1,000グラムを下回りました。全国の平均は947グラムで、大阪府は全国で31番目でした。

また、生活系ごみについては、全国で少ない順から４番目でしたが、事業系ごみについては、全国で46番目でした。

**図１　ごみ総排出量の推移**



（２）ごみ処理の状況

大阪府のごみの最終処分量は39万１千トン（前年度比7.5％減）で、全国で最も多く、1人1日当たりの最終処分量は121グラム（同7.5％減）、全国で39番目でした。

また、資源化されたごみの量は44万トン（同0.4％増）、リサイクル率は13.8％（同0.5％増）となりましたが、全国で45番目でした。（図２）

図2　総資源化量とリサイクル率の推移

**図2　総資源化量とリサイクル率の推移**



（３）府内の市町村の取組みベスト５（リデュース・リサイクル・エネルギー回収）



**２　し尿処理の概要**

（１）水洗化の状況

大阪府の総人口886万人（前年度887万人）のうち、水洗化人口注1）は869万人（構成比98.0％）、前年度867万人（同97.8％）です。

うち公共下水道人口が817万人（同92.2％）、前年度814万人（同91.8％）、浄化槽人口注2）が51万９千人（同5.9％）、前年度53万１千人(同6.0％）となっています。

一方、非水洗化人口は17万４千人（同2.0％）、前年度19万５千人（同2.2％）と、公共下水道の整備により水洗化人口が増加し、非水洗化人口は減少する傾向にあります。（図３）。



**図３　し尿処理形態の推移注3**

注1）水洗化人口＝公共下水道人口＋浄化槽人口

注2）浄化槽人口＝合併処理浄化槽人口（コミュニティ・プラント人口を含む。）＋単独処理浄化槽人口

注3）グラフ中の数値はそれぞれの構成人口（万人）です。

（２）し尿の排出・処理状況

　くみ取りし尿及び浄化槽汚泥の計画処理量は合計で575千kL（前年度603千kL）です。

それぞれの内訳は、くみ取りし尿の計画処理量は302千kL、浄化槽汚泥の計画処理量は273千kLとなっています。（図４）

くみ取りし尿及び浄化槽汚泥の

計画処理量

合計　575千kL

**図４　くみ取りし尿及び浄化槽汚泥の処理内訳**

 

